

心の中の鬼をやっつけよう

うどの幼稚園で節分行事を開催

うどの幼稚園は2月3日、心の中の鬼をやっつけようと節分にちなんだ行事を行いました。

園児たちは、「邪気を追い払うために豆を投げる」、「鬼はいわしと柁のとげが嫌いだから玄関に柁いわしを飾る」といった節分にまつわる話を聞き、学びを深めていました。

その後、窓をドンドンと叩き、鬼が登場すると、「怖い怖い」と鬼から逃げ回る園児の姿もありましたが、先生が「心の中にいじわる鬼や寝坊鬼など、悪い鬼がいる人はやっつけましょう」と呼びかけると、園児たちは「はい」と元気よく返事をしていました。



鬼から逃げる園児たち

Town topics

2 /

3



01



02

01. 上桐原バス停をスタートする生徒たち。02. ゴールテープを切る生徒。

応援を受けながら校区内を疾走

相野谷中学校が駅伝大会を実施

相野谷中学校は2月4日、桐原地区から大里地区までをコースとした駅伝大会を行いました。

これは、生徒同士の絆や地域の人たちとの親睦を深めるとともに、冬の寒さに打ち勝つ体力づくりの一環として毎年行っているものです。

生徒たちは4チームに分かれ、上桐原バス停を出発し、阪松原生活改善センター、相野谷小学校を經由し、南北浦バス停で折り返し、相野谷中学校に戻るまでの6区間、総距離約11.1 kmのコースを完走しました。

沿道やチェックポイントでは、保護者や地域の人たちが声援や拍手を送り、生徒たちは応援に応えるように元気に走っていました。

Town topics

2 /

4

矢淵中学校吹奏楽部がゲスト出演

県警音楽隊が「ふれ愛コンサート」

町青少年育成町民会議と町公民館連絡協議会は2月4日、まなびの郷で三重県警察音楽隊による「ふれ愛コンサート」を開催しました。

県警音楽隊は1955年の発足以来、県民と警察を結ぶ「音のかけ橋」として広報啓発活動を展開し、愛される音楽隊を目指して活動されています。

コンサートには約500人が来場し、数々の名曲の演奏や交通安全や特殊詐欺に関する寸劇を行ったほか、最後には矢淵中学校吹奏楽部がゲスト出演し、さらに会場を盛り上げました。

また、会場では紀宝警察署による「交通安全・防犯コーナー」が設置され、来場者たちは子ども制服試着や自転車シミュレーションなどを体験していました。



県警察音楽隊と矢淵中学校吹奏楽部の合同演奏

Town topics

2 /

4

町自主防の関係者らと一緒に

矢淵中が防災学習を実施

矢淵中学校の2年生83人は、1月30日、町学校防災アドバイザーで三重大学の川口淳准教授を講師に迎え、町自主防災組織連絡協議会の会員ら約20人と防災学習を行いました。

これは防災意識を高めることや状況を見て自己判断できる力を身につけることを目的とするもので、災害発生時の救助や応援活動、避難所運営などの事例を自らの問題として考え、YESかNOで答えるクロスロードに挑戦しました。

「避難所に犬を連れてくることを許しますか？」などと問題が出されると、生徒と会員らは悩みながらカードをだし、YESの問題点、NOの問題点をそれぞれ考え、話し合い、学びを深めていました。

Town topics

1 /

30

「命の道」の早期完成を祈念して

紀宝熊野道路の中心杭打ち式を開催

一般国道42号「紀宝熊野道路」の中心杭打ち式が1月14日、御浜町中央公民館において、御浜町、紀宝町、熊野市、国土交通省の共催で開催されました。

主催者として、おおはたごめろ 御浜町長、にしだけん 西田健紀宝町長、かわかみ いなだまさひろ 河上敢二熊野市長、いぬい 稲田雅裕国土交通省中部地方整備局長が出席しました。また、鈴木英敬衆議院議員をはじめ、地元選出国会議員のほか、一見勝之三重県知事、藤根正典・谷川孝栄両県議会議員、近隣市町村長、市町議会議長、各機関・団体の代表者など、約50名が出席しました。

式典は、御浜町ジュニアバンドの演奏で開幕し、主催者あいさつや来賓祝辞などが行われたあと、主催者や来賓などの代表8名が会場内に設置された中心杭の打設を行い、早期完成に向け、今後の円滑な事業の推進を祈念しました。



01

01. 早期完成を願い、杭打ちが行われる。02. 御浜町ジュニアバンドによる演奏で開幕。



02

Town topics

1 /

14

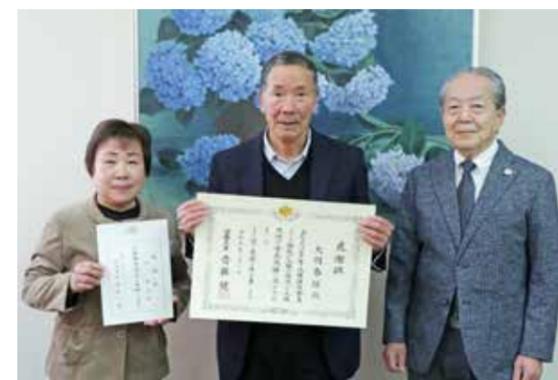
新任の平さんに委嘱状を交付

退任の大岡さんに感謝状を伝達

町は1月17日、人権擁護委員を5期15年務めた大岡春雄さんへの法務大臣感謝状伝達式と、新たに委員となった平典子さんに対する委嘱状交付式を行いました。

人権擁護委員は、地域住民から人権相談を受けたり、人権について関心を持ってもらえるような啓発活動を行っており、任期は3年で、人権相談や啓発活動、人権救済などに取り組めます。

西田町長は大岡さんのこれまでのご尽力に感謝の意を表するとともに、平さんには「豊富な経験を活かし、町の人権意識の高揚に向けてご尽力をいただきたい」と話していました。



新任の平さん（左）と感謝状の伝達を受けた大岡さん（中）

Town topics

1 /

17